

第40回定期大会開催

運動方針を満場一致で決定!!

JR四国労組は7月9日(金)、「JRホテルクレメント高松」(香川県高松市)において第40回定期大会を開催した。未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中での開催となったが、受付時の検温やマスク着用などの徹底、社会的距離を確保した会場設営など、昨年以上に入念な対策を施し安全を確保した上で、四国各地より代議員、特別代議員など約110名が出席した。

大会スローガンには「**団結 創造 実践** JR四国労組の強固な団結力と創造力で社会変化に対応した労働運動を実現し、この難局を乗り越え明るい未来を切り拓こう!」を掲げ、①安全・安定・安心輸送の確立、②組織の強化・拡大、③労働環境の改善を柱とした運動方針を満場一致で可決し、新体制をスタートした。



議長に選出された山田代議員

大会は、10時30分から森安副執行委員長長の開会挨拶で始まった。中野資格審査委員長から代議員42名全員の出席報告があり、大会の成立を確認。愛媛支部山田代議員を議長に選出した。

大会には、連合四国プロックを代表して連合香川・森会長、四国交通労働協・砂田議長、JR四国・西牧社長、ジェイアール四国バス・吉良社長、産別のJR連合からは荻山会長を来賓として迎えた。執行部を代表し挨拶に立った大谷執行委員長は、方針に掲げた3本の柱について所見を述べるとともに、「コロナ禍の影響は深刻で、当社グループ決算は連結決算公表開始以来最低の数字となるなど、極めて厳しい結果となった」と振り返りつつ、「先行き不透明な中でも『中期経営計画2025・長期経営ビジョン2030』の始動は『明るい素材』だ」として、「新たな支援措置」について、全関係者へ感謝するとともに、責任組合として会社と協議しながら結果にこだわる施策展開していく、との決意を述べた。さらに、「会社が『第二

の創業期』として苦難を乗り越えようとする中、多くがJR採用世代となった組合も、社会変容に対応しなければならぬ。苦渋の決断をする場面もあるが、決定した運動方針を実践することが組合員と家族の幸せに繋がる。『必ず来る明るい未来』に向け、共に力強く進んでいこう」と強く呼びかけた。

議事では、執行部から、一般経理報告・決算報告、2021年度運動方針案及び予算案が提起され、29名の代議員、特別代議員より、運動方針に肉付けする活発な討論が行われた。これを受け、各担当部による答弁の後、嶋田書記長より総括答弁が行われ、すべての議案が満場一致で承認された。また、大会等へのリモート

安全・安定・安心輸送の確立について
JR産業は、安全の確立なくして存続できない。



大谷執行委員長長挨拶(要旨)

ト参加を容認すべく諸規則の一部改正等を行い、その後実施した役員改選においては、長きにわたるJR四国労組運動を牽引した嶋田書記長、幸副執行委員長を再任するとともに、武智副執行委員長、中村書記長を選出した。新たな役員体制を確立。その後、池原青年女性会議議長より大会宣言案が提起され、承認した上で、JR四国労組の団結とさらなる躍進を確認するため、大谷執行委員長が「団結ガンバロー」で締めくくった。

組織の強化・拡大について
「組織体制充実と強化を図り、魅力と活力のある組織を構築」を念頭に、『JR連合ビジョン』で掲げる理念を通じ絆を深め、民主的な労働運動を

労使協力の下、将来に亘り安全を最優先し、社会に信頼される企業経営を継続させることが重要だ。しかし、昨年の大会以降、構造物の一部落下や入換作業時での脱線、待避不良や工事に伴う不安全事象など、一歩間違えば人命に係わる重大事故に繋がる事故が発生。傷害事故も頻発している。その都度、労使で議論を重ねたが撲滅に至らない。引き続き、「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロの完遂」を重点テーマに、チェック・提言機能を磨き、安全のさらなる向上に努める。今一度、「一人ひとりの基本動作の確実な実行とルールの厳守により、安全なJR四国グループが築かれている」という安全意識の高揚を図り、組織をあげて取り組んでいこう。

労働環境の改善について
コロナ禍により、今春開交渉や夏季手当交渉は極めて厳しいものとなるも、日々奮闘する組合員の雇用と生活を最優先に、働きがいのある環境整備とJR連合策定の中期労働政策ビジョンに掲げる目標達成に向けた労働条件向上を目指してきた。結果、JR四国では定期昇給実施、看護休暇の

展開する。その際、感染症対策を徹底し、「出向組合員対話集会」や「職場対話行動」の開催、「レクレーション・サークル活動」や「各種集会」、「学習会」などを活用して、幅広い世代に対応し、「一人作り、組織作り」に取り組み。一方、コロナ禍で社会環境が激変する中で、健全な労使関係の意義や労働組合の必要性を再認識し、労使連携して課題を解決していかなければならぬ。良きパートナーとして相互理解を深め、「安全と雇用の確保」を前提とした労使協議を行う。組織運動と連携した取り組みを展開する。

適用条件緩和をはじめ数項目の制度改善が図られたが、夏季手当は発足後最低の1.21ヵ月となった。ジェイアール四国バスにおいては、年齢給のみの定期昇給実施、定年再雇用契約社員への賃金改善が図られたが、待命休職を実施している中、夏季賞与ではなく一時金として60,000円の支給となった。

厳しい環境下で、キーワーカーである組合員の労苦が最大限評価されたものとして受け取った。会社発足以来最大のピンチの中、様々な社会変化に対応しなければならぬ。今こそ、責任ある労働組合の存在価値を高めるべきだ。

香川支部策定の『働き方改革創案 Action Plan 2021』について、その取り組みに敬意を表す。本部も同様の考えを持ち労使協議を行ってきた。JR連合策定の政策提言においても、同様に問題提起がなされている。

JR産業は安定した産業と目され、私たちが「安心」を基調とした就業観があった。しかし、コロナ禍による不安感が広がりはじめている。私たちの働き方は、業務の性質上不規則勤務で構成され、夜間作業や危険作業も多く内在する。これを働く側が忌避する傾向も見られ、思い切った働き方改革を進めなければ、人材流失や採用競争力低下を招きかねない。ポストコロナ時代における働き方について、労使で丁寧に向き合い、「人財」に関する課題改善について協議していく。

同時に会社の考えや方向性を組合員に丁寧に説明すること」が組合の役割だ。要求だけを突き付け、結果を批判するのではなく、その要求内容にこだわりを持った提案型の労働使協議を今まで以上に展開していく考えであり、会社側にも、踏み込んだ回答を期待する。そうした労使のやりとりが「より良い労使関係」、そして「より良い結果」を創り出す。

あわせて、会社環境に影響する政策課題についても触れておく。JR連合では、様々な政策提言を行っており、コロナ禍

の対応についても、加盟単組における雇用と組合員の生活を守るべく、累次の要請行動や支援行動に取り組む、精力的に運動を展開してきた。社会変化に対応すべく、今後、JR連合と連携を密にし、様々な政策課題解決に向け参画していく。より良い労働環境整備、政策課題解決には、政治の関わりが重要だ。地域交通を支えるためにも国政の立場から支援をいただかなくてはならない。来る衆議院議員選挙にて、推薦候補者の当選に向けて取り組みを要請する。

連合香川 森 信夫 会長
連合香川西地域協議会 石川 哲也 事務局長
四国交通労働協 砂田 篤志 議長
四国旅客鉄道株 西牧 世博 代表取締役社長
山内 研吾 総務部勤務課長

祝電・メッセージ(順不同)
国会議員
小川 淳也 衆議院議員
玉木雄一郎 衆議院議員
広田 一 衆議院議員
武内 則男 衆議院議員
白石 洋一 衆議院議員
永江 孝子 参議院議員
杉本 宗之 理事長
四国労働金庫 川推本部 本部長
こくみん共済coop香川 鈴木 義博 本部長

JR北海労働組合 山本 悟史 団長
JR北海道労働組合 ジェイアール・イーストユニオン
東海旅客鉄道労働組合
西日本旅客鉄道労働組合
九州旅客鉄道労働組合
日本貨物鉄道産業界労働組合
日本電力関連産業界労働組合
四国電力関連産業界労働組合
日本私鉄労働組合四国地方連合会
日本郵政グループ労働組合四国地方本部

JR連合 荻山 市朗 会長
吉良 次雄 代表取締役社長

ジェイアール四国バス(株) 代表取締役社長
山内 研吾 総務部勤務課長

連合香川 森 信夫 会長
連合香川西地域協議会 石川 哲也 事務局長
四国交通労働協 砂田 篤志 議長
四国旅客鉄道株 西牧 世博 代表取締役社長
山内 研吾 総務部勤務課長

質疑討論(要旨)

土井代議員 (香川支部)



香川支部では、新しい働き方の提案として「働き方改革創案 Act i on Plan 2021」を取りまとめた。乗務員負担軽減のため、ロング行路廃止やエリア線区担当方式を提案している。四国全体へ水平展開すべく、会社への申し入れをお願いしたい。

◆感染症により増収活動が制限され、コミュニケーションが取りにくくなっている。ワクチン接種が進めば、制限も緩和されると考える。収入への貢献及び職場内のコミュニケーション活性化のため、サークル活動とは別に補助はできないかと。◆国民民主党玉木代表は、国会でJR四国への経営支援策や離職、賃金問題についてご発言いただいた。組合員の思いを国土交通大臣に訴え、将来に希望の持てる答弁を受けた。来る衆議院議員選挙では、玉木代表をはじめ、JR四国を応援してくれる議員を一人でも多く国政に送り込めるよう応援したいと考えるが、比例区での支持政党も決まなければならない。本部の考えを伺いたい。

◆組織問題について、JR連合は浦和電車区事件や三鷹電車区事件などを通じ、民主化闘争の完遂に向けて精力的に取り組んできた。そうした歴史的背景の中で、安倍前首相も国会で、「革マル派がJR総連に影響力を行使用うる立場に相当浸透している」と指摘し、この内容をJR連合も発信した。その後の動きについて教えていただきたい。

◆交通共済をこくみん共済coopへ2023年7月に一本化することが確認された。一本化に向けた今後の進め方や組合で取り組んでいる加入行動は今後継続するのか教えていただきたい。

◆信用降車型ワンマン運転が松山・伊予西条間に今後導入されると聞く。会社の現況に鑑みれば当然と思うが、車掌の雇用に影響が生じないようお願いします。また、ワンマン手当の増額も合わせて求めてほしい。

◆松山車両基地に関して、車両留置箇所の段差が激しく、対策も不十分である。事故が起きる前に対処されるよう会社に強く申し入れをお願いします。◆四国新幹線について、2037年度開業という目標が掲げられている。地域活性化、四国のローカル線維持を考えた場合、絶対に必要なものであり、引き続き要望をお願いします。また、進捗状況をご教示いただきたい。

◆空調服導入へのご尽力にお礼申し上げます。これから夏場を迎えるが、作業時に非常に役立つ。夜間作業外作業手当の新設をお願いしたい。夜間でないといけない工事や検査があり、作業によっては過酷なものもあるが手当は少ない。若手社員も離職も増えていること踏まえ、求めてほしい。



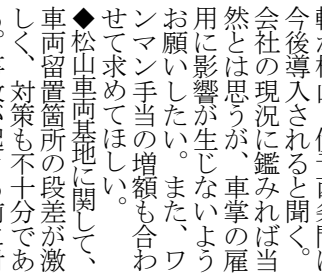
◆コロナ禍の影響を受け、大変厳しい交渉ではあったが、今春闘では、定期昇給の確保、特例として

◆現在の組織人員はJR連合が約87,000名、一方でJR総連はJR東労組からの大量脱退を受け約20,000名となっており、JR内最大産別



◆春闘交渉の結果は、コロナ禍で非常に厳しい状況ではあったが、組合員の皆さんの頑張りを会社に訴えて獲得できたものである。ワクチン接種が進めばお客様のご利用も戻ってくると思定する。今後も引き続き基本動作の徹底により、安全・安定輸送の確保実現に努めていきたい。

◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。



◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。

◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。



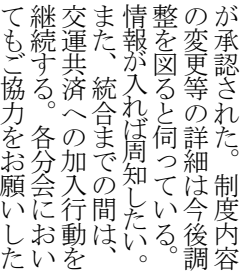
◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。

◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。



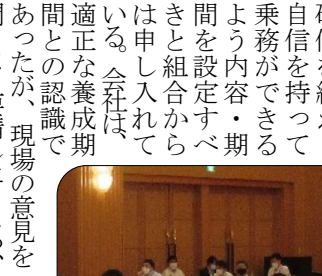
◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。

◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。



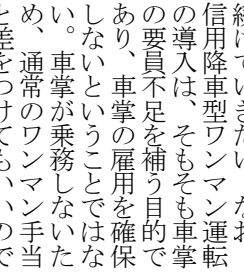
◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。

◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。



◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。

◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。

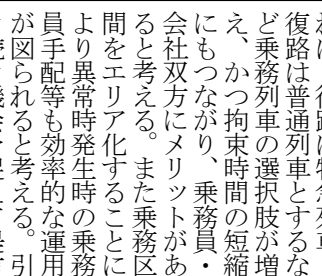


◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。



代議員・特別代議員から多数の質疑が寄せられた

◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。



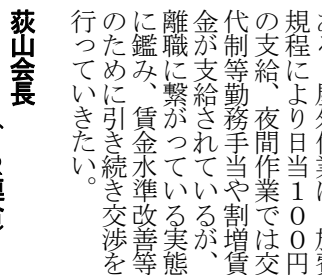
◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。

◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。



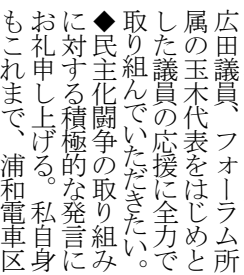
◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。

◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。



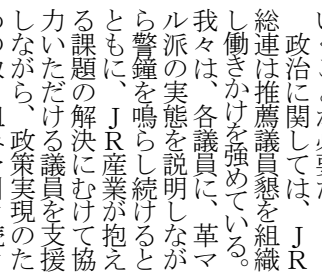
◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。

◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。



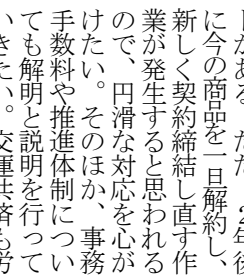
◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。

◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。



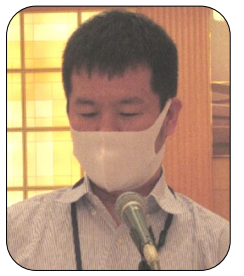
◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。

◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。



◆増収活動への本部からの支援について、昨年度はコロナ禍の影響により活動が停滞したため、予算を人数割し各支部への補助を行った。今年度はワクチン接種後の活動活性化を期待するが、叶わない状況になれば、昨年度の手法で補助を行う考えだ。8月に開催するサークル協議会運営委員会にて検討していききたい。

河野代議員
(徳島支部)



時には手間も省けるなどのメリットが生じる。引き続きの要請をお願いしたい。

◆女性乗務員について、現在高松、松山、高知でしか受け入れられておらず、徳島出身の女性乗務員は地元を希望できない。設備等の整備が必要だ。

◆職種接種の会場が高松しかなく、香川県以外の組合員にはリスクや負担が大きい。各県での職種接種実施の検討をお願いしたい。

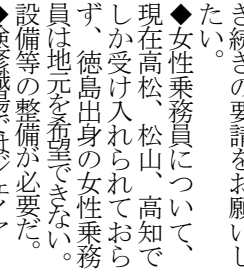
◆ワクチン接種の副反応情報が錯綜しており、どれが正しい情報なのかわからず不安を抱えている組合員も多く存在する。正しい情報を組合員に周知するようお願いしたい。

◆みどりの券売機プラスの導入で、主要駅係員の減少、土休日営業の取りやめにより、集札や販売業務等が増え、列車乗務員の負担が増えている。乗務員のモチベーション低下や体調管理、離職防止のため、手当の増額や勤務体制の見直しをお願いしたい。

◆乗務員靴の軽量化、携帯書類のタブレット化を求め、乗務員靴は携帯品、携帯書類等を含めると10キロ以上の重さがあり、女性乗務員には大きな負担となっている。携帯書類がタブレット化できれば乗務員靴の軽量化にもつながるほか、更新

◆乗務員靴の軽量化、携帯書類のタブレット化を求め、乗務員靴は携帯品、携帯書類等を含めると10キロ以上の重さがあり、女性乗務員には大きな負担となっている。携帯書類がタブレット化できれば乗務員靴の軽量化にもつながるほか、更新

石川代議員
(高知支部)



◆駅及びワープでは、サービスマンアップのために長い目で見てプロフェッショナルを育てていく必要があるが、転出や離職により若手社員、契約社員が定着しない。処遇の改善等により問題解決を図っていただきたい。

◆当務業務を一般社員が担うこととなり負担が生じている。会社は、従来よりも幅広い業務を担うことで成長意欲が高まることと説明していたが、賃金には反映されなかったため長意欲、モチベーションは低下している。昇格の計画的な実施などにより適切に対応するよう申し入れをお願いしたい。

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

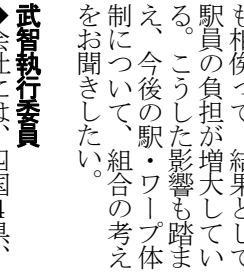
◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

武智執行委員長



◆会社には、四国4県、そして大阪・東京での職種接種実施を申し入れたが、接種後のアナフィラキシーショック等への備えとして医師が必要となり、それが確保できる高松診療所のみを会場とせざるを得ないとの回答があった。自治体ですら医師の確保には苦慮しており、職種接種の実施により自治体の、ひいては日本全体の接種を加速させるという意義があるため受け入れたい。さらに、会場まで自費の取扱いだったところを、職場もしくは自宅最寄り駅からの自由席特急券代用証を発行可能としたほか、勤務の取り扱いも、接種日翌日の保存休暇使用が可能となった。そうした経緯で協議を行ってきた旨ご理解いただきたい。

◆副反応については色々報道もあるが、情報提供するように会社には伝えている。本日(7/9)より職種接種が始まっているが、今後の状況についても必要に応じて情報展開したい。

◆乗務員靴の軽量化、携帯書類のタブレット化は以前から申し入れており、会社も有効と考えているが、すぐには実施できないとの回答である。今後の業務機器取り替えのタイミングで、可能な導入したいとのことであるので、引き続き要請していきたい。

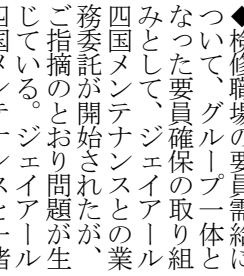
◆女性などの職場でも働

◆女性などの職場でも働

◆女性などの職場でも働

◆女性などの職場でも働

嶋田書記長



◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

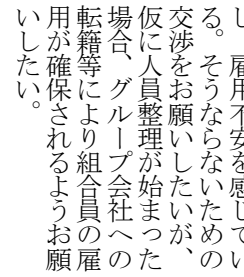
◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

曾川代議員
(香川支部)



◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

片山代議員
(香川支部)



◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

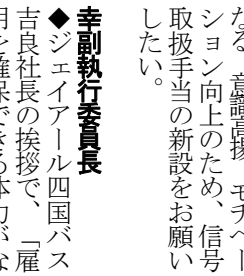
◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

幸副執行委員長



◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

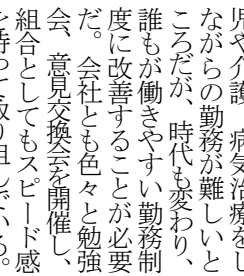
◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

武智執行委員



◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

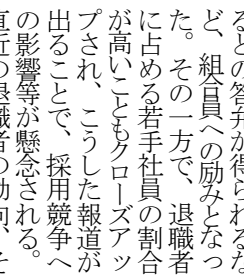
◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

仲田代議員
(自動車支部)



◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客



◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

◆「みどりの券売機プラス」の導入箇所ではお客

長吉代議員 (高知支部)



している。その際は、広く組合員に周知し、業務委員会でも議論していきたい。

武智執行委員

◆制服は会社の顔である。交換が適切に可能となる体制を整えるよう申し入りたい。

森安副執行委員長

◆支援策は今回で完結するわけではなく、引き続き取り組みは継続していく。2025年にどういう手を打つか、10年後の経営自立や将来のJR四国グループがどのような姿になるのか、議論しながら取り組んでいきたい。当面は、コロナ収束後に必要な支援について、会社側とコミュニケーションをとりながら要望を聞かなければならないし、関係する議員とも連携していきたい。

嶋田書記長

◆来る衆議院議員選挙について、高知県協として一生懸命取り組む旨の頼もしい言葉をいただきお礼申し上げる。議案書にもJR四国労組の「四国の鉄道を考える国会議員連絡会」メンバーを記載している。選挙区にお住いの知人等にも協力をお願いしていただきたい。また、新人候補者では愛媛1区の友近敏郎氏、愛

幸副執行委員長

◆直近の離職の動向について、自己都合退職者数は一昨年度がピークで鈍化している。離職理由は様々あると考えるが、組合としては、入社から退職まで生き生きと働いてくれている環境作りというのは、非常に大きな課題だと思っている。賃金や労働条件、福利厚生も含めて交渉してきており、一歩でも前進が図れるよう引き続き取り組む。

バス

◆バスの雇用について、現段階で、具体的な施策は聞こえてこない。会社を存続させることが第一であると考え、今後万が一雇用に関する施策を検討せざるを得なくなった場合は、前広な説明、丁寧な協議を行うよう要請しており、会社も了承

媛4区の中野真由美氏の推薦も決定している。当選に向けた取り組みをお願いする。

松浦代議員 (本社支部)

◆組合費について、コロナ禍で活動が抑制される一方で、組合員の年収も低下が想定される。一時的に組合費を下げることはできないか。また、年齢階層で組合費を設定することができないかご検討いただきたい。

森重代議員 (香川支部)

◆女性組合員の数は年々増加している。男女平等であり、女性活躍推進等の観点から、組合において女性役員の育成は必要不可欠である。レディー・ユニオンスクールへの女性組合員対象コース新設をお願いしたい。

飯沼代議員 (香川支部)

◆改正育児介護休業法では、育児休業等の取得状況公表が義務化される。また、出生直後の時期に柔軟に育児休業を取得できるような制度が見直されるほか、現行では休職中は就業不可だが、新制度は労働者が合意した範囲で休業中に就業することが可能となる。現場実態に即した環境整備、利用しやすい制度になるよう交渉をお願いしたい。

武智執行委員

◆現状では紙媒体による新聞の配布及びホームページ上でニュース等を掲出している。他の単組では、こうした情報をLINE等でも発信しているところもある。参考にして取り組んでいきたい。8月に開催する教育広報委員会でも議論していきたい。

森安副執行委員長

◆組合費は基本給により算出されるが、ベテランの方々が退職され、若年者が増えている現状は、収入は厳しい状況となっている。今回いただいた意見を踏まえ、あり方を考える必要があるかも知れないが、労働組合の運動を停滞させない、との考えがあることもご理解いただきたい。

現在車掌の養成は年5回ほど行われている。教導を複数回担当する人もいる。モチベーション向上のため、教導手当の増額を求める。

寶田代議員 (本社支部)

◆本社では在宅勤務や時差出勤を実施しているが、コロナ禍での一時的措置であり、収束後を危惧している。制度が恒久化されるようお願いしたい。また、フレックスタイムや時間単位年休を以前よりお願いさせていただいている。合わせて働きか

岡村代議員 (香川支部)

◆デジタル基盤が拡充され、在宅勤務の基盤が整っているのだから活用していくべきだと思ふ。制度の恒久化について会社に申し入れていきたい。フレックスタイムや時間単位年休についても以前から発言いただいていた。現状半休を取得できない職場もあり、全職場で取得が可能になるよう取り組んでいきたい。

幸副執行委員長

◆運動事故は、長時間労働や日勤に夜勤が重なることが発生の要因と考えられる。ワンセット勤務の前半を年休等で対応できれば負担軽減になるため、選択肢拡大の検討をお願いしたい。

片山代議員 (高知支部)

◆工務系職場において待避不良の問題が多く発生しているが、毎回行われるのはソフト対策ばかりである。人命に係わる事

武智執行委員

◆子育てしやすい環境作りについて、育児介護休業法改正に合わせて制度作りを検討する(と)にも、現行の配偶者休暇制度の活用等、多様な生活スタイルに合う勤務制度について要請していきたいと考える。

規約改正の必要がある。この後、提案させていただきたい。

幸副執行委員長

◆当務業務について、現場では当務助役に対して、業務内容自体ではなく、その職責に忠じた手当が支払われている。各手当の必要性については、業務対策委員会にて要求項目を精査し、議論していきたい。

松浦特別代議員 (香川支部青女)

◆時短勤務の取得可能箇所拡大、時短勤務の対象年齢引き上げ、時間帯の導入、配偶者の出産立ち会いへの有給付与等、様々な生活スタイルに合う制度の新設により、子育てしやすい環境作りをお願いしたい。

森安副執行委員長

◆通勤と夜勤のワンセット勤務を夜勤のみとすることで負担軽減ができないかという意見について、働き方改革創案でも示されていた。日勤業務を前日に繰り上げて対処しているが、休みの日に跨いでいるが、女性特有の休暇というイメージ強い。使用用途を特定されないために、女性が取得する有給休暇等について、勤務日の交番表上は全てFケアと表記してはどうか。また、Fケアに限らず、会社の制度を知らずに退職する若手組合員もいる。管理者の理解の深化も含め、業研や乗務員訓練等で定期的な制度についての学習時間を設けていただきたい。

馬場特別代議員 (高知支部青女)

◆待避不良対策については工務部会からも多くの声が挙がっており、タブレットを用いてダイヤを通知等できると思う。会社からは、他社事例を参考に、四国に即したシステムを勉強中と伺っている。

人員配置

◆人員配置について、短

ければ1年で転勤する組合員もいる。新天地に慣れることや人間関係構築等の面で負担が大きい。本人の希望に沿った人員配置をしていただくようお願いしたい。

安藤代議員 (香川支部)



◆慢性的な要員不足から、短日勤務制度等を要望してきたが、改善したと思える状況にはない。今般香川支部では、働き方改革案を作成した。この改革案を実行すれば、列車本数に応じた適正な要員、午前と午後への就業の集約により、新しい働き方が実現できる。ぜひ交渉の素材として活用していただきたい。

◆コロナ禍により、生活給となっていたボーナスが下がり、住宅費の支払い等が厳しくなっている。日々の生活を少しでも安定させることができるよう、住宅補給金の増額を求める。

◆契約社員は、年次有給休暇が付与されるまでは、休んでしまえば欠勤扱いとなり、評価に関わってこない。勤労意欲や働きやすい環境作りのためにも、取得可能な休暇への改善をお願いしたい。

◆7月7日、香川県議会において山本悟史香川県議が地域公共交通について質疑を行った。香川県知事よりコロナ後の需要喚起策や四国新幹線について前向きな回答をいただいた。香川支部としても引き続き山本県議と連

携を図り、政策課題解決に向けて取り組んでいきたいと思う。

村田代議員 (香川支部)



◆配偶者の人間ドックについて、社員と同条件の毎年5,000円の負担で受診できるように改善していただきたい。

◆地元以外への配属を理由に、中堅層の組合員が退職する事象が発生した。要員不足の中で鉄道特有のスキルを持つ人材の流出は大きな痛手だ。可能な限り配慮した人事運用がなされるようお願いしたい。

武智執行委員

◆車掌の要員不足について、労働時間Bを増やすなど会社も色々と取り組んでいるが、今回策定された働き方改革案に提案いただいた内容も踏まえながら、会社と協議していききたい。

◆住宅補給金については、現状貸貸に対し21,500円を上限に支給がなされている。一方で、まずは、限られた原資を組合員の皆さんに平等に支給されるボーナスの確保を第一義に、力を注いで交渉していききたいと考えている。

◆契約社員への休暇適用について、年休が付与されるまで欠勤扱いになるが、何か柔軟な対応ができないか協議していききたい。

◆希望勤務地は交渉事項ではないが、離職原因の一つとして、会社とは議論を重ねてきた。要員需給の関係で全員が希望箇所での勤務が難しいことはご理解いただきたい。ただ、最近人事運用への配慮が進んでおり、これまでの積み重ねの結果と認識している。

幸副執行委員長

◆四国新幹線等の話は重複するため割愛するが、山本県議をはじめとする我々の味方になっていただけの議員とは、しっかりと連携していきたい。

◆配偶者の人間ドックについて、頻度を増やしてほしいという声は当然あると思うが、頻度が増えれば当然健康保険料も上がってくる。福利厚生面での意見ということでは会社に伝えていきたい。

矢野特別代議員 (運転部会)

◆働き方改革案は、運転部会を通じて各支部に展開している。部会での意見集約の際、「組合は職場を廃止するような提案を考えているのか」との質問が他の分会等からあった。むしろ逆で、各職場の必要性が高まる提案である。エリア線区担当方式は、各運転区所で乗務エリアを区切り、効率的な運用を推奨している。区所に限定せず乗務可能となるような教育の実施も必要だが、異常時の乗務員運用の際にも、

経費面、安全面の観点から合理的といえる。既存の考え方を抜本的に見直す必要はあるが、これに対し本部の考えを聞かせて欲しい。

高木特別代議員 (本社支部青女)

◆時間加給Bは労働時間に含まれているのか。

◆若手社員に対し、初任給調整手当の増額など意欲的な施策を実現したかったことにお礼申し上げる。ただ、コロナ禍でボーナスが減額され、給与所得のみでの生活に不安を感じる組合員もいる。人材確保やサービスレベル等の維持といった観点からも、副業が容認されるよう要求していただきたい。

河野特別代議員 (自動車業務委員会)

◆ジェイアール四国バスでは、雇用調整助成金の活用により雇用が守られている状況にある。そのほかに雇用を守るために行える施策があれば、JR連合、JR産業とも連携し取り組んでいただきたい。

◆感染症対策について、ジェイアール四国バスで

◆自動車支部青女 (自動車支部青女) ◆感染症対策について、ジェイアール四国バスで

は、先日、2回目となる抗原検査キットの配布が行われた。1回目は従業員全員だったが、2回目はバス乗務員と窓口営業係のみに配布された。全従業員分の検査キットの購入を会社に訴えかけていただきたい。

幸副執行委員長

◆ジェイアール四国バスの命綱になっている雇用調整助成金が9月末まで延長された。これは皆さんにご協力いただいた署名活動やそれを様々な関係省庁等に働きかけていただいたJR連合の力によるものだ。各単組、各会社では解決し得ない課題について、JR連合は他の産別、軌道連合、サービス連合とも連携して様々な要請をしていただいている。我々も単組として下支えをしっかりしていきたい。

◆抗原検査については、検査後に聞いた。お客様に第一線で接する乗務員、窓口接客業務にあたる社員を優先的にされたこと認識している。しかしながら、実施するならば全従業員を対象とすべきと窓口員を通じて申し入れていきたい。

武智執行委員

◆副業を認めた場合、本業への影響とともに、労働時間管理等が困難となることを懸念される。

◆エリア線区担当方式について、非常に理にかなっていると感じている。行

◆鳴田書記長 ◆エリア線区担当方式について、非常に理にかなっていると感じている。行

路上の無駄を省け、乗務する列車の選択肢が増えることで効率が高くなる。異常時の対応も待ち時間を減らせることで効率的に行えるだろう。

香川特別代議員 (自動車支部青女)

◆時間加給Bのみに該当する時間は労働時間ではない。モチベーションアップのため、手当の適用範囲拡大や奨励金の増額見直しをお願いしたい。また、列車見張員や線路閉鎖工事監督員は、作業員と比較し、安全を確保する上で責任重大な業務を担っていることから、手当の新設を求める。

◆住宅補給金について、賃貸と比較し持家は金額が低い。賃貸と同程度に持家も増額できないか、見直しをお願いしたい。

小笠原代議員 (香川支部)

◆高松運転所では育児休業をしてきた女性乗務員が運転士として職場復帰した。本部・支部の尽力にお礼申し上げる。

◆育児休業取得について、定期昇給への影響という金銭面の問題から、取得期間を短くしたり、諦めたりする組合員がいるため、改善されたい。また、配偶者産後休暇は運転所でも年々取得者が増えており、より期間を長くするよう交渉していきたい。

◆兼元特別代議員 (徳島支部青女) ◆乗務員と比較し、駅、工務系、車両系の組合員は手当が多くない。業務に必要な資格等についても、高額な資格取得費用

◆運転所の検修職場では、年齢層が高く、ベテラン社員が退職すれば若手社員への負担は大きくなる。養成にも時間がかかるほか、手当の少なさが若手社員の意欲低下に繋がっている。人員の強化、手当の増額、増設をお願いしたい。

武智執行委員

◆4378D列車の形式について、毎年トイレのないキハ40形式から変更するよう要求しているが一向に改善されない。お客さまからトイレを使用したいとの申告があった場合は停車時間を確保すると会社は言うが、駅のコンパクト化などでトイレのない駅が増えている。また、同車両は運転席が高く、深夜時間帯のワンマン列車ではホームミラーが非常に見えにくい。ドア扱いのトラブルも発生している。改善を強く求めている。改善を強く求めている。改善を強く求めている。

◆信用降車型ワンマン運転の営業に伴う運賃ほ脱防止のために、会社と協議をしていくところである。特別改札については、今年度84本、昨年度121本実施している実績がある。今後拡大していく区間に対しても協議をしていくので、適宜情報発信させていきたい。

◆ジェイアール四国バスは、資金が逼迫していることから、2021年からの設備投資を実施しないとしている。バスの女性乗務員にとって、設備の改善は非常に重要な課題である。元々が男性職場に偏っていたことは、長い時間をかけて解消してきた。

◆幸副執行委員長 ◆ジェイアール四国バスは、資金が逼迫していることから、2021年からの設備投資を実施しないとしている。バスの女性乗務員にとって、設備の改善は非常に重要な課題である。元々が男性職場に偏っていたことは、長い時間をかけて解消してきた。



大谷委員長による力強い「団結ガンパロー」

◆新設ではなく既存施設の改良などで女性の働きやすい環境づくりができないか求めている。武智執行委員 ◆育児休業の取得と昇給の欠格条項の関係について、かねてからご意見いただき、会社と交渉しているところである。ノーワーク・ノーペイという考え方に基づく取り扱いだが、安心して子育てしてもらおうという観点から、引き続き交渉していき

◆技術管理と構内の体制について、例えば資格で点数をつけて手当を設定するなど、対応できないか検討していきたい。

◆4378Dについて、毎年要求しているが、車両の運用上の都合と会社からは回答がきているが、引き続き改善するよう申し入れていく。

◆信用降車型ワンマン運転の営業に伴う運賃ほ脱防止のために、会社と協議をしていくところである。特別改札については、今年度84本、昨年度121本実施している実績がある。今後拡大していく区間に対しても協議をしていくので、適宜情報発信させていきたい。

◆幸副執行委員長 ◆ジェイアール四国バスは、資金が逼迫していることから、2021年からの設備投資を実施しないとしている。バスの女性乗務員にとって、設備の改善は非常に重要な課題である。元々が男性職場に偏っていたことは、長い時間をかけて解消してきた。

嶋田書記(要旨)



安全・安定・安心 輸送の確立について

「安全の確立」について、今さら言うまでもないが、皆さんはプロであり、一人ひとりが主役である。スキを見せることなく、慢心することなく自らの業務を頑なに全うしていただきたい。

組織の強化・拡大の取り組みについて

目指すべき姿に向かう時、組織の意見が異なっていることは、むしろ進まない。しかし、組織内で意見が異なることもあるかも知れない。そうした場合は、じっくりと議論し、最終的に思われる道に意思統一を図っていただきたい。その上で、機関連定事項については全

「うずしお」、「マリライナー」が空席で走り、またジェイアール四国バスにおいても同様に、空席のバスが走った。

組合員が一致団結して取り組んでいただこうと願っている。一昔前、皆さんが知らない国鉄時代には、労使・労対決の時代もあった。一部、既得権益を守るため、不合理な抵抗を行って、混乱を招いていた時代があった。そのような不安極まりない経験は私の世代までで終わりにしたい。このあと選出される新執行体制のもと、民主的労働運動と、二度と雇用不安の起らない健全な労使関係、それに向けた労使協議を進めていただきたい。

また、ごく少数にはなりましたが、未だ四国内には他労組が存在する。在任中に何とか道すじをつけたかったが、残念ながら後任に託すことになった。新執行部において、状況を見極めながらよりよくお願いしたい。

労働環境の改善について

昨春閣において、JR四国では19年ぶりになる賃金改善、さらには若年層組合員への大幅な初任給調整手当の改善が図られ、ジェイアール四国バスにおいても、社員の賃金改善は叶わなかったが、定期昇給の実施と、契約社員の賃金改善が図られた。

だが、昨年の春以降、このように大きく状況が変わると誰が予想できたであろうか。鉄道においては、「おかげ」、「南風、

そのような中でも、組合員の皆さんによる「安全・安定輸送の確保」と、それぞれの業務に対する努力は何ら変わらなず、いつも通りこなしていただいた。しかしながら、現実として収入は激減し、回復も見通せず、働く者にも影響している。そうした状況ではあるが、諦めてはいけな

いた。本部としても、これらをもとに、組合員皆さんが、安全で、働きやすく、働き続けられる職場の構築、諸制度の改善に向け、会社にも問題提起していく。最後に、今回のコロナ禍において、JR連合ははじめ、JR連合国会議員懇、四国の鉄道会を考える国会議員連絡会メンバーのご協力を構築いただいた。これら政策課題解決は政治との関わりが極めて重要というの皆さんが重々ご承知の通りである。当面、10月までには実施される衆議院選挙への取り組みについて、また来年夏の参院選も含め、全組合員全力での支援をお願いしたい。

会社も、中期経営計画の中で、「変えること」と「働かざるの創出」を掲げている。これを機に、先を見据えた変革を進めていくことも必要であり、「残すべきは残し、変えるべきは変える」という気概を持ち、労使で新たな時代への変革に踏み込んでいくことも求められる。



新役員名簿

※各職・氏名・所属支部

- 執行委員長 大谷 清 (愛媛企画部)
- 副執行委員長 武智 義治 (松山運輸所)
- 書記長 中村 鉄平 (松山運輸所)
- 執行委員 中野 圭司 (多度津運転区)
- 執行委員 石川 敏也 (高知駅)
- 執行委員 杉本 慶太 (多度津駅)
- 執行委員 山本 鉄平 (松山運輸所)
- 執行委員 井内 貴志 (徳島運転所)
- 執行委員 河野 憲司 (高知運転所)
- 執行委員 實田 晃 (運輸部輸送課)
- 執行委員 上田 耕成 (ジェイアール四国バス高知支店)
- 執行委員 安藤 正春 (高松車掌区)
- 執行委員 島崎 隼途 (松山電気区今治駐在)
- 執行委員 笹岡 慎平 (徳島駅)
- 執行委員 山本 真二 (高知運転所)
- 執行委員 和田 庄平 (総務部労務課)
- 執行委員 河野 鎮朗 (ジェイアール四国バス高松支店)
- 特別執行委員 森安 祐貴 (JR連合派遣)
- 特別執行委員 松山 工事所
- 特別執行委員 池原 匡哉 (多度津運転区)
- 特別執行委員 尾上 裕子 (高松運転所)
- 特別執行委員 大野 裕史 (松山電気区)
- 特別執行委員 三好 幸治 (高知運転所)
- 特別執行委員 岡本 茂 (高知運転所)
- 特別執行委員 高知運転所

第1回本部執行委員会開催

7月9日(金) 第40回定期大会終了後、第1回本部執行委員会をJRホテルクレメント高松で開催した。経過報告及び議事は次のとおり。

- ① 経過報告
- ② JR四国労組第40回定期大会
- ③ 議事
- ④ 専従指定について
- ⑤ 特別執行委員の指定について
- ⑥ 2021年度任務分担について
- ⑦ 2021年度各種委員会名簿について
- ⑧ 年間スケジュールについて
- ⑨ 第1回業務対策委員会の開催について
- ⑩ 部会三役会議の開催について
- ⑪ 連合「2021年度各種アンケート調査」の実施について
- ⑫ 2021年度教育・広報委員会の開催について
- ⑬ 2021年度サークル協議会運営委員会の開催について
- ⑭ その他
- ⑮ 新入組合員対応に対する補助の支給について
- ⑯ 次期(第2回)執行委員会の開催について
- ⑰ その他



【各支部定期大会開催日程】

- 《香川支部》 8月 1日(日) 13:00～ サンポートホール高松
- 《本社支部》 8月27日(金) 18:30～ 高松東急REIホテル
- 《高知支部》 8月29日(日) 13:00～ 高知城ホール
- 《愛媛支部》 9月 6日(月) 15:00～ 愛媛県勤労会館
- 《徳島支部》 9月 7日(火) 14:00～ JRホテルクレメント徳島
- 《自動車支部》 9月 9日(木) 14:00～ ホテルアネシス瀬戸大橋

本部青年女性会議 第29回定期委員会開催!

7月17日(土)、ホテルアネシス瀬戸大橋(香川県宇多津町)において、スローガン「CHANGE」を今こそ変革のチャンスと捉え、



「ホテルアネシス瀬戸大橋」において、スローガン「CHANGE」を今こそ変革のチャンスと捉え、

「ホテルアネシス瀬戸大橋」において、スローガン「CHANGE」を今こそ変革のチャンスと捉え、



- 議長 矢野 宏樹 (高知支部)
- 副議長 近藤 直樹 (香川支部)
- 事務局長 矢野 新議長 (香川支部)
- 事務副局長 尾上 裕子 (香川支部)
- 事務副局長 谷角 卓也 (本社支部)

さらなる飛躍を目指し、矢野新議長の「団結ガンバロー」で終了した。なお、新三役員は次のとおり。